

まなびや

館内・隠れた展示ポイント

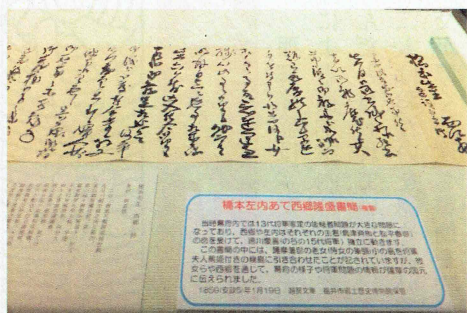
西郷どんからの手紙

橋本左内あて西郷隆盛書簡

越英文庫・福井市郷土歴史博物館保管(複製)



尋常小学修身書・巻五「度量」

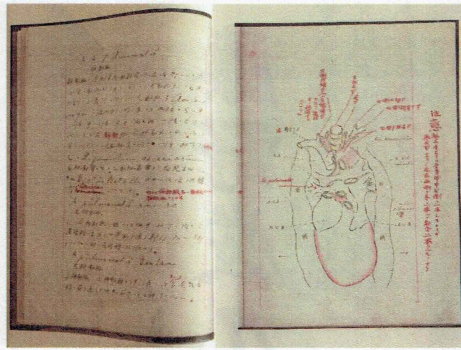


1859(安政5)年1月19日

西郷隆盛は、「安政の大獄」による橋本左内の死を深く悼んだと言われています。生前二人はお互いを認め合い、親交が厚く何度も書簡を交わしています。尋常小学修身書の「度量」項目では二人のエピソードも掲載されています。書簡には、13代将軍家定の後継者問題について徳川慶喜擁立に動いたそれぞれの主君(島津斉彬と松平春嶽)や、幕府の様子などの情報が伝えられています。【展示室B】

中国一級文物(国宝)複製 魯迅と藤野先生の絆

医学授業「脈管学ノート」の添削



魯迅の医学授業ノートは、解剖学、脈管学、など13科目を6冊に合本したもので、一九五一年浙江省紹興市で発見され、中国の一級文物(国宝)に指定されています。原本は、北京魯迅博物館に保管され、非公開になっています。ノートには、赤のインクで藤野先生が加筆・訂正した跡が残ります。藤野先生の熱意が忍ばれません。是非一度ご覧ください。

藤野厳九郎

ふじの・げんくろう

▼藤野厳九郎(一八七四〜一九四五・明治7〜昭和20年)あわら市出身。



福井尋常中学校、愛知医学校で学び、同校教員を経て、仙台医学専門学校(現東北大学医学部)に移る。教授に昇進した明治37年、留学生の魯迅に解剖学などを指導しました。魯迅に対して講義ノートを添削するなど、懇切丁寧な指導しました。魯迅は、文学を志して退学し帰国します

魯迅を指導し日中友好の架け橋となった

【企画展】開催中

幕末明治 福井の教育

「藩校の教育改革」

洋学等を積極的に国内外に学ばせ、技術の習得や人材育成をはかった、藩校の教育改革を中心に紹介しています。



が、藤野先生への尊敬の念は生涯忘れることはありませんでした。魯迅が著した小説「藤野先生」は、中国の教科書に今も掲載され、藤野厳九郎という名前は中国人人々に広く知られています。

